

第13回安中市行政改革審議会会議録（概要）

【日 時】平成20年8月20日（水）午前10時00分～12時00分

【場 所】安中市役所 委員会室

【出席委員】8名

【欠席委員】7名

【事務局】4名（総務部長、企画課長、行政管理係長、担当職員1名）

【配付資料】

1. 行政改革審議会委員名簿
2. 行政評価の導入について
－行政評価部会での検討結果に基づく進捗状況－
3. 市の行政評価についての方針等（現時点における作成文書等の記載内容）
4. 行政評価導入の日程等
5. 行政評価の導入に係る意向の確認について（依頼）
6. 行政評価導入に係る支援意向申し出業者比較表
7. 創造型政策評価（CPE）の時代
－やりがい・達成感のある次世代型政策評価－
8. 各位
9. 安中市行政改革大綱（行政評価部会員には配布済み）
10. 安中市行政改革大綱実施計画

【概 要】

- 1 開 会 司会進行：課長
- 2 挨 拶 会長
部長
- 委嘱状交付 部長から岩井委員へ
- 自己紹介 委員及び事務局
- 配布資料確認 事務局

3 協議事項

- (1) 行政評価について 議長：会長
説明：事務局
- ・行政評価部会について
 - ・行政評価部会での進捗状況について
導入、運用にはコンサルタントの支援を受ける
コンサルタントの選出に向けて、19団体に参加意向の確認

1 3 団体から参加意向の表明

「創造型政策評価」の導入を採用する

今後プロポーザルによるコンサルタント選出を予定

部会から捕捉説明

- ・行政評価部会を三回開催し、色々な意見や情報が出されている
 - ・多くの自治体で行政評価が導入されているが、中々上手くいっていない。
 - ・多くの自治体では評価に関して条例の中に根拠がなく、安中市のように大綱などの中に根拠がある。
 - ・全国共通の評価の方法が有る訳ではなく、自治体の数だけ行政評価の仕組みがあると言うほど、独自性がある。
 - ・全体の傾向とすれば、政策・施策の評価ではなく、事務事業評価を導入している団体が多く、自己評価、内部評価をして数値化・定量化で評価している。
 - ・実際には導入、推進しても事業部局とすればやらされ感・負担感が高く、評価シートを作成という業務が増えるだけと感じてしまう。
 - ・普段職場で議論する文化がないので、「創造型政策評価」で議論しながらやってみようということになった。
 - ・まだ導入された団体はないのでやってみなければ分からない部分もあるが。
 - ・既に導入している自治体の問題点、課題に陥らないようにできれば。
-
- ・意向を確認した19団体はどの様に選考したのか。また今後プロポーザル等で支援業者を決めるにあたって、今回回答のあった13団体に限るとした場合、公募という意味で大丈夫なのか。
 - ・実績のあるところ、または市への登録業者などへ依頼した。
今までのプロポーザルでは業者選定は一般競争では行っていない。指名で行っている。
今までは特に問題、苦情があったとは聞いていない
 - ・内容が専門的で、業者は限られるのでは。
 - ・当面は今回回答のあった13社に絞って構わないのでは。
 - ・今回はコンサルタントのノウハウのみではなく、創造型政策評価というものが核にあり、それに対応できるかどうかになるので、さらに数は減ると考えている。
 - ・今回大学の外郭研究所には依頼しなかったのか
 - ・確かに大学の研究室などでは、県内自治体から受託をうけてやる場合もあるが、常勤のスタッフがいる訳ではなく、難しいと思う。
 - ・創造型政策評価を詳しくやっている業者が見つかれば、依頼済みの業者以外でも参加してもらおう。
 - ・評価部会で決まった創造型政策評価を導入は、行革審として了解いたします。

(2) 行政改革大綱実施計画について

説明：事務局

- ・大綱との不一致部分の調整を行った
 - ・今後微調整を行い、決裁を受けたい
-
- ・事務局とすればこれで決裁を貰うということですが、よろしいのではないかと。
 - ・内容的にまだ調整出来ていない部分がありましたので、今後変更する箇所が出てくる場合があります。
 - ・行革審としては課題として出しているの、なるべく大綱に沿うようにしていただければ。

- ・光ファイバーに関しては平成26年まで掛かってしまうのか。観光客、宿泊者に対して何か政策はないのか。
- ・NTTで行っている事業であり、行政としては積極的にはできない。秋間地区などでは地域で取り組み、成功している。現在では光ファイバーや地デジに関することは、民間事業者に働き掛けをする程度。

(3) 今後の予定について

- ・行政評価の業者選定はプロポーザルで行うことを予定している。
- ・審議会委員にも、選定委員として参加をお願いするかも。
- ・まずは創造型政策評価の本が8月末に発行されるので、業者に理解してもらおう。
- ・部会長と事務局で選定委員、選定基準を決めてやっていただきたい。
- ・今年も先進地視察研修を考えております。視察内容、場所はまだ未定ですが、会長と決めさせていただきたいと思います。ぜひ参加をお願いします。
- ・この場では10月1・2日の予定とします。

(4) その他

事務局説明事項なし

4 その他

事務局説明事項なし

閉 会